

高岡市民病院第Ⅲ期中期経営計画（公立病院改革プラン）の点検・評価及び公表について

1 プランの概要

- (1) 名称 高岡市民病院第Ⅲ期中期経営計画 ～公立病院改革プラン～
- (2) 期間 平成21年度から平成25年度まで（経常黒字化の目標年度：平成26年度）
- (3) 策定日 平成21年3月31日

2 プランの実施状況の公表について

本院の経営効率化への取り組み状況(進捗状況)については、「高岡市民病院経営懇話会」等で意見を求めながら点検・評価し、高岡市や病院の広報紙及びホームページ等で、より広く市民に公表する。

公表日は平成22年12月15日(水)

3 点検・評価の概要

(1)経営効率化に係る計画の進捗状況について

これまでの度重なる診療報酬のマイナス改定や地域偏在による医師・看護師不足など、医療を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況にある。

平成21年度決算については、上期において患者数の確保が厳しかったことから、それに伴い医業収益も落ち込みが見られた。ただ、下期に入り、患者数も安定的に確保でき、DPC適用病院として効率的な医療資源の投入、分析にも取り組み、収益の確保に結びつけてきた。その結果、全体では前年度に比べ医業収入の減となり、また依然として建物等設備投資に伴う減価償却費の負担が大きく、約457百万円の赤字となった。これらを踏まえ、主な経営指標は別紙のとおりである。

21年度から4か年で病院建物改築時に導入した高度医療機器を計画的に更新していく予定であり、これらの導入にかかる経費は中期経営計画に盛り込んでいる。21年度はマンモグラフィや心カテアンギオ、頭腹部アンギオなどを導入したことから、この整備時期の年度後半には一時的に対象患者の制限による収益への影響がみられたが、今後これら機器の効率的活用により医療の質を高め、患者数の確保、収益の増につなげてまいりたい。

また、職員に対し、経営参画意識を高めるよう、本院の取組みを周知するため、経営分析や数値目標などをわかりやすく説明する機会をこれまで以上に多く設け、魅力ある病院づくりに努めていく。

(2)再編・ネットワーク化及び経営形態見直しの状況について

- ①再編・ネットワーク化については、本院が位置する高岡医療圏は、救急医療に係る病院群輪番制による救急医療体制が整備されており、公立病院を含む公的病院の各々が、自院の機能を活かし医療圏内での基幹的医療機関としての一翼を担っている。

このようなことから、今後の国や県が策定する再編・ネットワーク化に関する計画・構想等や、医療圏内の各病院の経営状況、医師確保の状況などを踏まえながら、医療提供体制の一層の安定的運用を確保するため、再編・ネットワーク化について研究・検討も進めていく。

②経営形態については、平成15年度以降、赤字幅が縮減傾向にあり、当面は現在の経営形態(地方公営企業法一部適用)での経営改善策を着実に実行していく。また、地方公営企業法全部適用や独立行政法人化(非公務員型)等への移行も視野に入れた研究・検討を進めていく。

[戻る](#)